聖路加国際大学 第4回外部評価委員会　報告書

日時：2023年9月22日（金）10：00～12：00
場所：聖路加国際大学本館1階大会議室
外部評価委員会構成員［出席］小山　眞理子（日本赤十字広島看護大学　名誉学長）
島袋　香子（北里大学　学長）
曽根　智史（国立保健医療科学院　院長）
福井　トシ子（国際医療福祉大学大学院　副大学院長）
渡瀬　博俊（東京都中央区保健所長）
自己評価委員会構成員［出席］堀内成子学長、吉田俊子看護学部長、麻原きよみ看護学研究科長
西信雄公衆衛生学研究科長、糟谷知香江学術情報部長
大田えりか国際・地域連携部長、小山田恭子教務部長（看護）
大出幸子教務部長（公衆衛生）、小林京子学生支援部長（看護）
ギルモー スチュアート教授（公衆衛生）、青木眞晴大学事務部長
中島薫マネジャー(大学事務部)
髙鳥直人マネジャー（入試事務課 兼 IR推進室）
本郷一真アシスタントマネジャー（大学事務課）（看護）
岡林史朋子アシスタントマネジャー（大学事務課）（公衆衛生）
＜委員会事務局＞　河田景子、関加織、高村美帆
［欠席］森愼一郎研究管理部長、山田雅子看護リカレント教育部長
歌川光一准教授（看護）、永瀬能央マネジャー（大学事務課）（公衆衛生）
木村裕子（事務局）

資料：　聖路加国際大学第4回外部評価委員会資料
2022年度事業報告書

【1】開会

定刻、第4回外部評価委員会を開会した。堀内学長より福井委員が指名され、委員長に就任した。

【2】出席者紹介

外部評価委員会および自己評価委員会の出席者が紹介された。

【3】議題

1.　報告

初めに堀内学長より、2022年度の活動ならびに現在の大学の状況について報告された。
COVID-19感染防止と学修機会確保の両立、入学式・卒業式・祝福式などの行事、中期計画策定、認証評価受審、組織改編、公衆衛生学研究科長の交代について説明があった。
続いて各議題の報告があり、評価を行った。

(1) 2022 年度活動報告　(2) 2023 年度における対応

- 学部入試のチェック体制整備報告　　吉田看護学部長

一般入試におけるミスの発生を受け、2022 年度以降進めてきた入試管理体制の強化、再発防止策について説明した。

外部委員から慎重に入試を進めるよう助言があった。

- 看護学教育評価受審報告　　吉田看護学部長

2022 年度に受審した日本看護学教育評価機構の認証評価について報告を行った。長所として 4 項目、検討課題として 1 項目が挙げられ、適合判定を受けた。

外部委員から、CNE に関する質問があり、配置状況・育成課題を説明した。

- 公衆衛生系専門職大学院認証評価受審報告　　西公衆衛生学研究科長

2022 年度に受審した大学基準協会の公衆衛生系専門職大学院認証評価について報告を行った。特色 3 項目、検討課題 5 項目の提言があり、適合判定を受けた。

- 公衆衛生系専門職大学院認証評価 課題解決プレゼンテーション

9 月 27 日に行われる課題解決プレゼンテーションの報告を行った。認証評価で指摘のあった項目の改善状況ならびに今後の取り組みについて、どのようなプレゼンテーションを予定しているか説明した。

外部委員より、オンライン授業と対面授業の効果的な使い分けや学生同士の交流の促進について意見があった。

2.　中期計画 2030

(1) 大学の中期計画　　堀内学長

中期計画 Vision2030 の策定について報告を行った。People-Centered Care (PCC) を大学・病院の共通のコアバリューとして置き、大学は“For Students” “With Community” “With Staff” “For the Future”の 4 つのコンセプトを掲げ、事業計画を策定した。大学の具体的な中期事業計画として「入試改革、学部・研究科の構想検討」「マルチステージ型キャリア支援」「人生 100 年時代の生涯教育」の 3 つの柱を据えて取り組んでいく。

外部委員より、教育改革への学生の参画について助言があった。

(2) キャリア支援（看護学部）　　吉田看護学部長

看護学部の就職・進学に関する課題の説明ならびに現在進めているキャリア支援の取り組みを報告した。2023 年度よりキャリア支援分科会の設置、学生の個別相談室＜キャリアラボ＞開設等に取り組み、2024 年度より新規授業科目「キャリアデザイン」の開講を予定している。

外部委員より、コミュニケーションを学んでほしいと意見があった。

3.　看護学研究科 DNP コース　　麻原看護学研究科長

看護実践に根差した高度な人材育成を目的とする博士後期課程 DNP コースの概要、評価、現在の課題について報告した。

外部委員より、広報の強化やディプロマポリシーの表現の見直しについて意見があった。

4.　公衆衛生学研究科 CEPH 受審　　西公衆衛生学研究科長

米国公衆衛生教育協議会（CEPH）の認証評価受審について説明した。受審の手続きを進めており、2027 年度までの認証を目標として取り組んでいる。

外部委員より、米国の公衆衛生大学院に関する情報提供ならびに今後の運営について助言があった。

5.　学生国際奨学金　　大田国際・地域連携部長

学生国際奨学金による学生の海外派遣および留学生の受け入れの状況について報告を行った。海外派遣プログラムは医療・看護の要素を踏まえて内容を構成しており、国際留学の充実が大学の特色として認知されている。学生国際奨学金による取り組みの状況および教育効果について説明を行った。

外部委員より、この取り組みは聖路加の強みとなっている、今後も継続してほしいと意見があった。

【4】その他

現在、取り組んでいる計画を説明し、意見交換を行った。

1.　Vision2030 における教育 DX 推進方針について　　小山田教務部長（看護）

学修者本位の教育実現に向けて、「Vision2030 における教育 DX 推進方針」を取りまとめ、ICT 等の環境整備や教授法における ICT の活用計画を進めている。2022 年度より取り組んできたディプロマポリシー達成度の可視化を 2023 年度は更に推進し、manaba（システム）を用いた評価を開始する計画である。

外部委員より学生が使用する教材について質問があり、現在の状況を説明した。

2.　アドミッションポリシーをふまえた学部入試の実施について　　吉田看護学部長

アドミッションポリシーに基づく学部入試の実施状況、取り組みについて報告を行った。

外部委員より、適切な取り組みによって質が確保されているとの意見、今後は海外からの旅行者や移住者の対応が必要になるため、将来を見据えた教育の検討について助言があった。

【5】閉会

すべての議事が終了し、閉会した。次回は 2024 年度に開催を予定している。

以上